

2017年7月吉日

関係者 各位

東日本林業経済研究会

2017年度東日本林業経済研究会@栃木県高原山麓のご案内

戦後植栽された多くの人工林資源が伐期を迎え、政策的にも間伐から主伐(皆伐)重視へと転換がみられるなか、北関東では近年シカの頭数・分布域が拡大し、皆伐後再生林地におけるシカを始めとする野生鳥獣害が大きな課題となっています。全国最大手の国産スギ製材工場を有し、首都圏に最も近い新興林業地である栃木県において、人工林資源の皆伐、製材工場による利用、木の駅プロジェクトによる地域振興、再生林、そして野生鳥獣害対策について、現場第一線でご活躍の登壇者とともに議論します。高原山の裾野にある体験交流施設「星ふる学校くまの木」は、旧塩谷町立熊木小学校校舎を活用した美しい木造宿泊施設ですが、収容人数に限りがありますので、別紙書式にて早めのお申込をいただければ幸いです(〆切り 8月18日(金))。

記

日時:2017年9月23(土)～24(日)

場所:やすらぎの体験交流施設 星ふる学校「くまの木」(栃木県塩谷郡塩谷町熊木 802)

シンポジウムテーマ:「野生鳥獣害拡大の中での皆伐・利用・再生林」

演者:小金澤 正昭 氏(宇都宮大学名誉教授)

小川 修市 氏(専業林家、元たかはら森林組合参事)

佐野 幸隆 氏(矢板市商工会「木の駅プロジェクト実行委員会」委員長)

(進行:山本 美穂(宇都宮大学農学

部))

日程:

9月23日(土) 15:00～17:30 受付(宿泊予定者は17:30までにお願ひします)

18:00～20:00 懇親会(天気がよければ野外でバーベQ)

9月24日(日) 7:30～8:30 朝食(宿泊地提供)

9:00～12:00 シンポジウム

12:00～13:00 昼食(宿泊地提供)

13:00～15:00 エクスカーション後、解散

参加費:

宿泊費(未定):社会人 7000～9000円、学生 5000円前後(人数が確定したのちにお知らせします)。移動は原則として各自ご手配ください。ご希望があれば送迎バス利用も可能です(別記)。

問い合わせ先:林 宇一(宇都宮大学農学部)

電話 028-649-5535、FAX 028-649-5545

uichi@cc.utsunomiya-u.ac.jp

星ふる学校「くまの木」 (<https://www.shioya-kumanoki.com/>)

〒329-2213 栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木 802 (電話 0287-45-0061、FAX0287-45-1666)

- 現地へのアクセス

車の場合: 矢板 I.C. より約 25 分

矢板 I.C. → 県道 30 号 → 県道 74 号 → 県道 63 号



送迎バスの場合:

JR 矢板駅から 15 時台と 16 時台に 2 往復を予定しています。(詳細は後ほど連絡します)

- 寝室は男女別の相部屋です。タオル(100 円)、浴衣(200 円)、歯ブラシ(50 円)は有料ですのでご持参お勧めします。館内禁煙(喫煙所あり)。入浴午後 11 時まで。消灯 11 時
- エクスカーション: 高原山尚仁沢(日本名水百選の里)
借り上げバスにて移動可能です。